

エコファーマー全国交流会(in 東京)のご案内

～ 環境保全型農業の果たしてきた役割と今後の展開方向 ～

開催の趣旨

我が国の農業は、農業の持つ本来の機能のほか、環境に対する公益的機能を高めるなど、環境と調和した持続可能な農業の一層の推進が必要です。このためには、農業生産活動に伴う環境負荷の一層の低減に加え、地球温暖化、生物多様性、資源循環利用など多様な課題への対応を通じ、安心・安全で付加価値の高い農産物供給と併せ環境保全への寄与度を高め、これら取組が国民に支持されるようにしていくことが重要です。

2015年の国連サミットでは、2030年までに達成するSDGs(持続可能な開発目標)が採択されましたが、農業者はもとより、流通関係者や消費者も含め、あらためて環境保全型農業のあり方を検討すべき時期にきています。

このため、「全国エコファーマーネットワーク」は、多方面にわたる学識経験者による講演とパネルディスカッションを通じて、環境保全型農業の果たしてきた役割と今後の展開方向について検討する機会を持つことにしました。エコ農業に関心のある皆様のご参加をお待ちしております。



日時	令和2年2月4日(火曜日) 12:30～17:00(受付開始:12:00)
会場	連合会館401会議室(東京都千代田区神田駿河台3-2-11 TEL:03-3253-1771)
主催	全国エコファーマーネットワーク
参加者	エコファーマー、農業者、行政・普及機関、農業団体、消費者、流通関係者、企業など
定員	先着70名(資料代1,000円)

講演

- EUの農業環境政策に学ぶ
明治大学農学部食料環境政策学科教授 市田 友子
- 微生物の活用などによる生産力の維持増進対策の推進
東京農工大学大学院生物システム応用学科学府教授 豊田 剛己
- 環境保全型農業実践による成果と課題
宮城県(有)たじりエコベジタブル代表取締役 佐々木陽悦
- 生協の持続可能な農業への取組と課題
日本生活協同組合産直グループマネージャー 菅野 昌英

パネルディスカッション

テーマ	●コーディネーター	(株)マルタ代表取締役	佐伯 昌彦
環境保全型農業の果たしてきた役割と今後の展開方向	●パネラー	明治大学農学部教授	市田 知子
		東京農工大学大学院教授	豊田 剛己
		(有)たじりエコベジタブル代表取締役	佐々木陽悦
		日本生協連産直グループマネージャー	菅野 昌英
		(農)佐原農産物供給センター代表理事	香取 政典

情報交換・交流会

17:10～19:00(希望者:会費4,000円) 場所:館内1階 レストラン暫(しばらく)

【開催場所地図及び申込書が裏面にあります】

エコファーマー全国交流会の開催場所



◆最寄駅(地下鉄)

① 東京メトロ千代田線
「新御茶ノ水駅」 B3出口
(徒歩1分) 大手町側に乗ればすぐです。

② 東京メトロ丸ノ内線
「淡路町駅」 B3出口
※(B3出口まで徒歩7分)

③ 都営地下鉄新宿線
「小川町駅」 B3出口
※(B3出口まで徒歩5分)

★②「丸ノ内線」、③「新宿線」を利用の方は、地下道を相当歩き、千代田線方面へ進んで下さい。

★B3a・B3b 出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

◆最寄駅(JR)

JR 中央線・総武線 「お茶水駅」
聖橋口から徒歩7分

※連合会館は 8 階建の建物です。

参加申込書

令和2年1月28日(火)までにFAXまたはメールでお申し込み下さい。参加費は当日受付でお支払い下さい。

FAX 03-3219-1646

メール komatsu@japan-soil.net

ふりがなを記入 氏名	所属・連絡先(電話・メール)	参加区分 (○印をご記入下さい)	
		講演会 12:30~17:00	交流会 17:10~19:00
	所属: 住所: TEL: メール:		
	所属: 住所: TEL: メール:		

全国エコファーマーネットワーク事務局(一般財団法人 日本土壌協会内)
電話(03)3292-7281 (担当:小松 清明 090-4727-2179)